

かめだ図書館だより

平成26年12月・第7号



階段から見た1階の学習席

子育て中の皆さんを応援します！

－「赤ちゃんタイム」と「子育て支援コーナー」について－

亀田図書館では、小さなお子さんを子育て中の皆さんに向けて、「赤ちゃんタイム」と「子育て支援コーナー」を来年1月から実施します。

♡「赤ちゃんタイム」

「赤ちゃんタイム」は、もっと気軽に図書館をご利用いただけるように、館内が少々にぎやかになっても、あたたかな目で見守っていただけるよう、来館者の皆さんからご協力いただくものです。

日時 毎週水曜日 午前10時～午後1時

(1月14日から実施。第1水曜を除く)

場所 亀田図書館 子ども図書室とおはなしの部屋

♡「子育て支援コーナー」

1月8日(木)から、子育て世代からもっと手軽に本をお借りいただけるように、小さなお子さん向けの絵本リストから子育て関連本、手作りの服やニット、おやつやお料理の本などを、子ども図書室のブックリストコーナーに集めて置きます。

子育てのヒントに、ぜひご活用ください。



秋の読書週間は行事がいっぱい！－実施のご報告－



亀田図書館では、読書週間に合わせて様々な行事をおこないましたのでご紹介します。

●保存期限の切れた雑誌をお譲りします

10月26日(日)午前9時30分から、江南区文化会館の多目的ルームでおこないました。

今回は、亀田図書館や江南区地区図書室で購入していた2011年以前の雑誌などを約1,700冊ほどご用意しました。

開始前にはすでに約40人ほどの列ができ、最終的には約130人の方からご来場いただき、大盛況となりました。

●文化講演会「俳句の味わい(おくのほそ道より)－ドナルド・キーン氏の視点をふまえて」

11月9日(日)午後2時から、江南区文化会館の多目的ルームで、ドナルド・キーンセンター柏崎のボランティアスタッフである西澤翔氏より、「おくのほそ道」についてお話しいただきました。

当日は、約60人の参加があり、熱心にお話を聞いていました。

●中学生の俳句作品展示会

11月6日(木)から27日(木)まで、江南区郷土資料館の展示室を会場に、江南区にある大江山・曾野木・両川・横越・亀田・亀田西中学校からご協力いただき、生徒の皆さんが作った俳句作品73点を展示しました。

期間中は、約920人ご来場いただき、中学生のみずみずしい感性で作られた作品をご覧いただきました。

●おはなしのじかんスペシャル

11月中の土日に、「おはなしのじかんスペシャル」をおこないました。今回は個人ボランティアの参加もあり、絵本の読み聞かせをはじめ、紙芝居や昔語りを楽しんでいただきました。

7回の開催で、のべ59人のご参加がありました。



●なじらね？この本

10月25日(土)から11月30日(日)まで、おすすめしたい本を来館者の皆さんからリンゴの付箋に書いてもらい、154冊のおすすめ本を館内に掲示しました。

ちなみに、亀田図書館の職員がおすすめした本を紹介します。



『田舎のパン屋が
見つけた「腐る経済」』
渡邊 格／著 講談社
(横山)

『鴨川ホルモー』
万城目 学／著
産業編集センター
(本名)

『小さな異邦人』
連城 三紀彦／著
文藝春秋
(真柄)

『ヒカルの卵』
森沢 明夫／著
徳間書店
(矢田部)

『敗れざる者たち』
沢木 耕太郎／著
文藝春秋
(飯島)

『図工準備室の窓から』
岡田 淳／著
偕成社
(永村)

年末・年始の休館について

亀田図書館は、12月29日(月)から1月3日(土)まで休館いたします。そのため12月15日(月)から28日(土)の間、貸出期間が3週間になりますので、ごゆっくりお楽しみください。

また、休館中の本や雑誌の返却は、返却BOXへお願いします。ただし、CDやDVDは破損する恐れがありますので、BOXには入れずに、図書館が開館してからカウンターへお返しくください。

皆さまのご協力とご理解のほど、よろしくお願いいたします。

亀田図書館 コーナー紹介⑦ ★ティーンズコーナー★



亀田図書館では、10代の皆さんにいろいろなジャンルの本と出会えるよう「ティーンズコーナー」を設置しています。

物語や小説はもちろんですが、「岩波ジュニア新書」や「ちくまプリマー新書」といった、世の中のことを10代の皆さんにもわかりやすく書かれた新書や、さまざまな職業の就きかたについて書いてある「なるにはブックス」などもあります。

中には、マンガに出てくる食べ物について書かれた本や、吹奏楽部などの文化部やサッカー、テニス部などの運動部に入っている人に向けたお役立ち本など、さまざまな本が置いてあります。

もちろん、これから10代になる人や昔10代だった人、どなたが読んでも構いません。今の10代の人たちに向けて、どんな本が書かれているのかチェックしてみたいかがでしょうか。



村山協議会委員よりおすすめの本を紹介していただきました



『オレたちバブル入行組』

『オレたち花のバブル組』 池井戸 潤・著 文藝春秋

大ヒットドラマ「半沢直樹」の原作本2冊。

半沢は銀行の融資課長。取引先社長と支店長が企んだ計画倒産に遭う。融資金は回収不可能、責任を押しつけられる半沢。濡れ衣を晴らしていく。やられたらやりかえす、倍返しだ。

その後本店へ栄転し、頭取命令で巨額損失を出した老舗・伊勢島ホテルの担当になる。金融庁検査でエース検査官の黒崎が、同ホテルを不良債権先と分類するのを回避させる。

銀行内の派閥抗争では、上司であろうが曲がったことは認めない、徹底的に追求していく。

半沢の行動は痛快・爽快さを伴い、読者に感動を与える。

「かめだ図書館だより」第7号（年4回発行）

編集・発行 新潟市立亀田図書館（新潟市江南区文化会館内）

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話 025(382)4696

FAX 025(381)8003

メールアドレス kameda.cl@city.niigata.lg.jp

